

第 1 回北薩地域振興の取組方針策定有識者委員会

日時：平成30年 7 月 2 日（月）

午後 2 時から 4 時まで

場所：北薩地域振興局

会議室棟 3 F 第 5 会議室

会 次 第

1 開 会

2 北薩地域振興局長あいさつ

3 議事

（ 1 ） 北薩地域振興の取組方針策定について

（ 2 ） 意見交換

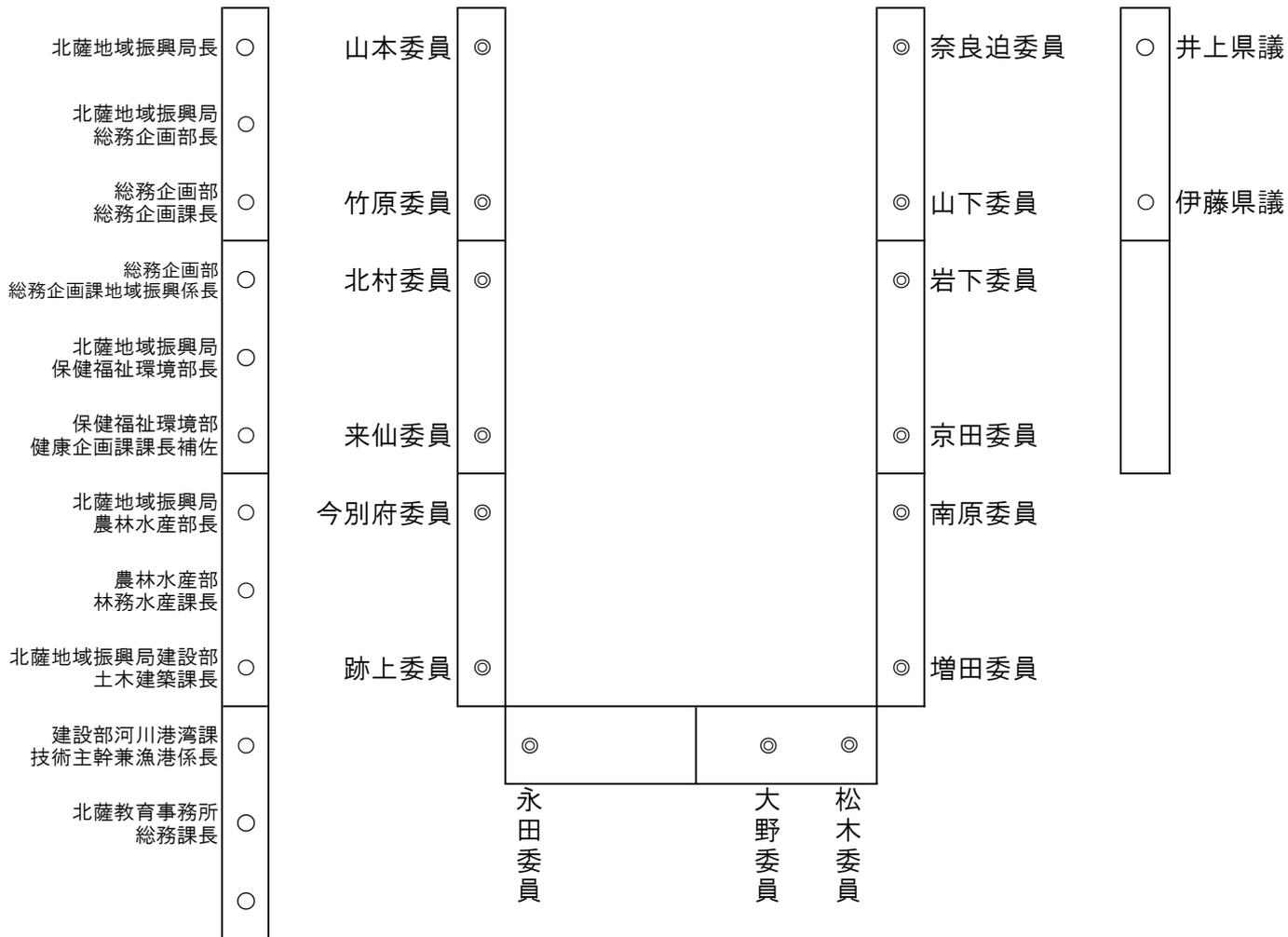
（ 3 ） その他

4 閉会

第1回北薩地域振興の取組方針策定有識者委員会「座席図」

日時：平成30年7月2日(月) 14:00～
北薩地域振興局本庁舎第5会議室(会議室棟3F)

座長



〈入 口〉

北薩地域振興の取組方針策定有識者委員会設置要綱

(設置)

第1条 鹿児島県北薩地域の課題やポテンシャル、分野別の取組方針などを示す「北薩地域振興の取組方針」(以下「取組方針」という。)の策定について助言を得るため、「北薩地域振興の取組方針策定有識者委員会」(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 取組方針の策定に当たっての協議・助言等
- (2) その他鹿児島県北薩地域振興局長(以下「北薩局長」という。)が特に必要と認めること

(組織)

第3条 委員会は委員16人程度で組織する。

2 委員は、様々な分野で活動されている人のうちから北薩局長が指名し委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から委員会が解散するときまでとする。

(委員会)

第5条 委員会は、北薩局長が招集する。

2 委員会の会議における座長は北薩局長とし、議事を整理するほか、会務を総括する。

3 座長が不在のときは、鹿児島県北薩地域振興局総務企画部長がその職務を代行する。

4 委員会には、必要に応じ関係職員を出席させ、関係事項について説明をさせ、又は意見を述べさせることができる。

5 北薩局長が必要と認める場合は、委員会に委員以外の者を出席させ意見を述べさせることができる。

(報償費及び旅費)

第6条 委員及び前条第5項の規定により出席した者には、「報償費」及び「旅費」を支給することができる。

(委員会の公開)

第7条 委員会は公開を原則とするが、委員会で協議の上、非公開とすることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、鹿児島県北薩地域振興局総務企画課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は、別に定める。

(解散)

第10条 委員会は、平成31年3月31日をもって解散する。

附則 この要綱は、平成30年6月27日から施行する。

北薩地域振興の取組方針策定有識者委員会 委員名簿

分野	所属・役職	氏名
教育	鹿児島純心女子大学事務局長	やまもと ふみお 山本 文雄
子ども・子育て	あさひ保育園園長	たけはら みちこ 竹原 美智子
	在宅保健師	きたむら じゅんこ 北村 純子
医療・福祉	出水郡医師会会長	らいせん たかひろ 来仙 隆洋
	社会福祉法人薩摩川内市社会福祉協議会会長	いま べつぷ てつや 今別府 哲矢
高齢者	阿久根市社会福祉協議会前会長	あとがみ いわいち 跡上 岩市
	さつま町民生委員児童委員協議会中央支部長	ながた まり 永田 まり
環境・エネルギー	薩摩川内市竹バイオマス産業都市協議会会長 中越パルプ工業株式会社川内工場長	よう かい よしたか 要塚 由隆
地域社会づくり	阿久根商工会議所女性会副会長 有限会社大野組 取締役	おおの まさこ 大野 雅子
	いずみ親子メニュー推進協議会会長 味処 魚松	まつき きょうこ 松木 京子
	鹿児島県建設業協会青年部会出水支部長 株式会社川床石油設備工業代表取締役社長	ますだ こうじ 増田 公二
農業	南原農園	みなみはら なみこ 南原 奈美子
	農事組合法人京田園代表理事	きょうだ だいき 京田 堤樹
林業	北薩森林組合参事	いわした まこと 岩下 誠
漁業	東町漁業協同組合参事	やました しんご 山下 伸吾
商工・観光業	薩摩川内市・出水市観光アドバイザー 株式会社薩摩川内市観光物産協会	ならさこ ひでみつ 奈良迫 英光

「かごしま未来創造ビジョン」に係る「地域振興の取組方針」
の策定について

1 趣旨

おおむね10年後を見据えた中長期的な観点から、鹿児島を目指す姿や施策展開の基本方向などを明らかにした「かごしま未来創造ビジョン（平成30年3月策定）」（以下、「ビジョン」）を踏まえ、各地域振興局・支庁において、各地域の課題や取組の方向性を明らかにする「地域振興の取組方針」（以下、「取組方針」）を今年度中に策定する。

2 「取組方針」の内容（案）

(1) 分量

概ね20頁程度

(2) 構成

「ビジョン」の内容を踏まえ、以下の項目で構成

（例）

- ・ 教育・文化・スポーツ
- ・ 保健・医療・福祉
- ・ 環境・エネルギー
- ・ まちづくり
- ・ 地域産業 など

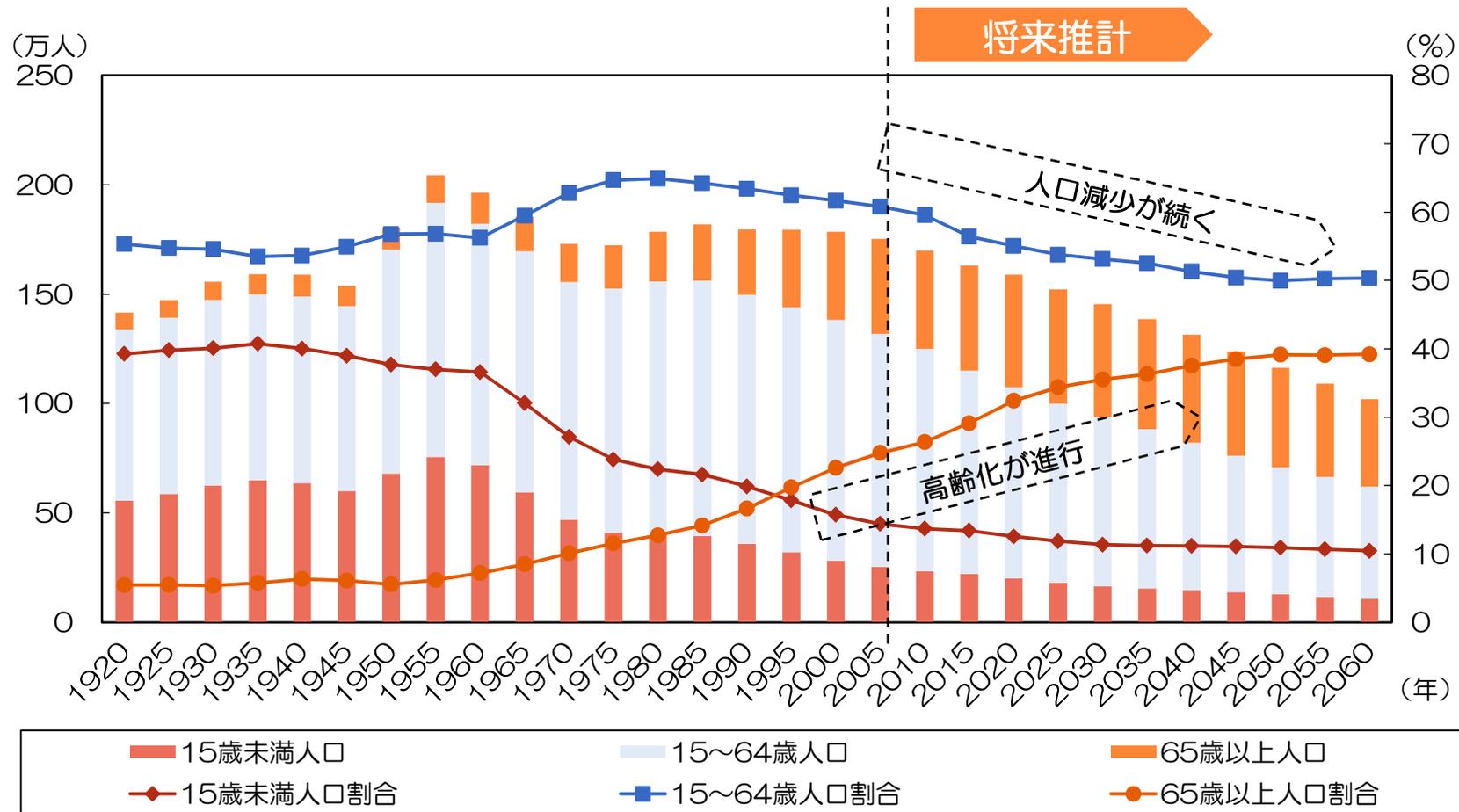
3 策定スケジュール（案）

7月	第1回有識者委員会の開催
7月～8月	取組方針（素案）作成
10月	第2回有識者委員会の開催
11月	取組方針（案）作成
12月	第3回有識者委員会の開催
1月	取組方針 決定

本県の人口減少・少子高齢化の現状

- 1 人口の推移
- 2 人口動態の推移
- 3 合計特殊出生率・出生数の推移
- 4 平均初婚年齢の推移
- 5 高等学校卒業者の進路状況
- 6 人口減少・少子高齢化の課題

1 人口の推移（年齢3区分別）

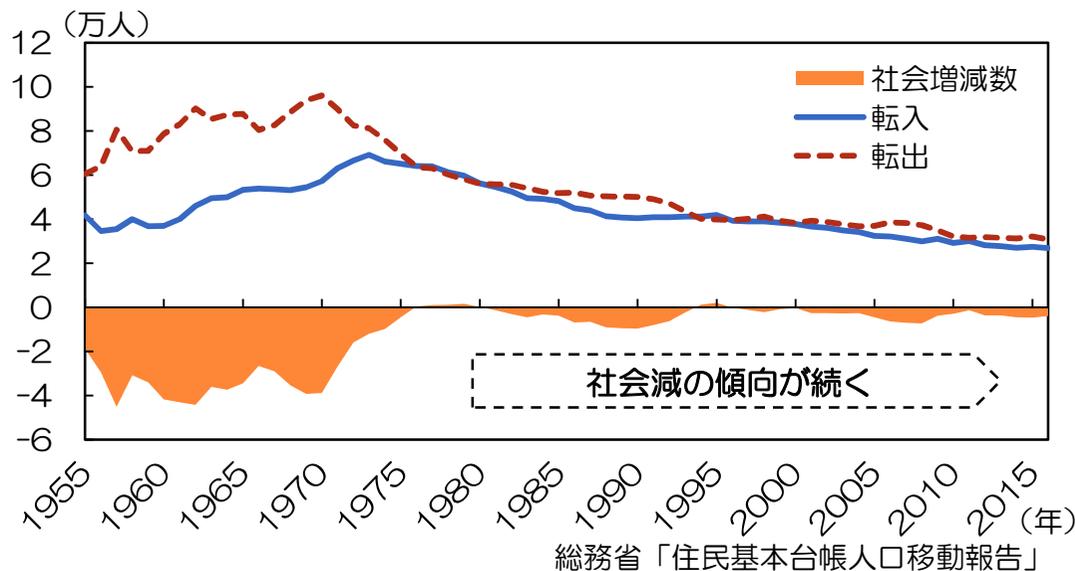


総務省「国勢調査」，国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



2 人口動態の推移

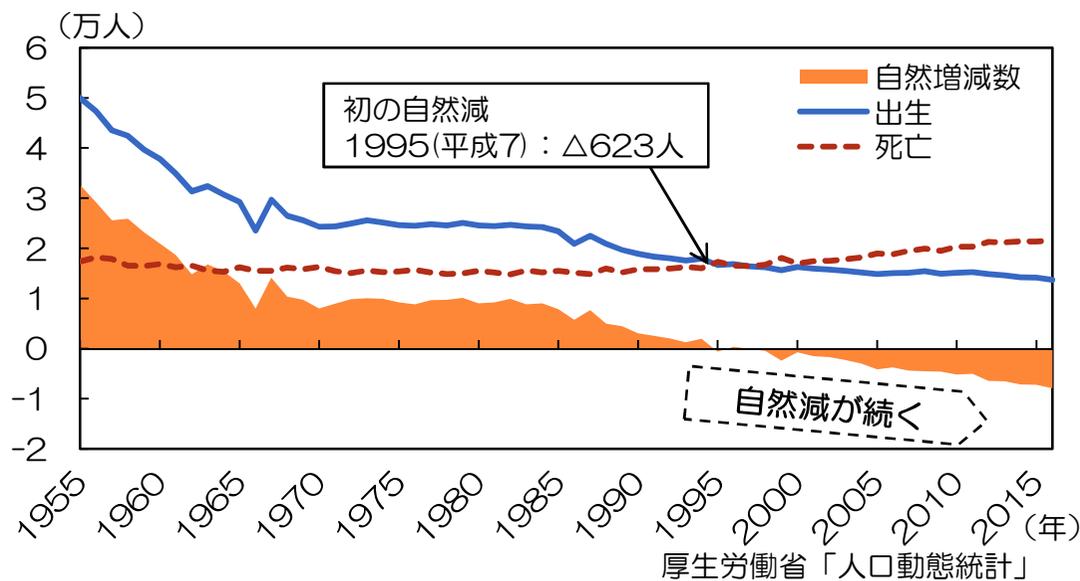
社会動態



2016(平成28)年
 転入 26,840人
 転出 30,795人
 社会増減 $\Delta 3,955$ 人

- 高度成長期は大幅な人口流出が続く
- 昭和50年代には、流出に歯止めがかかったものの、その後も社会減の傾向

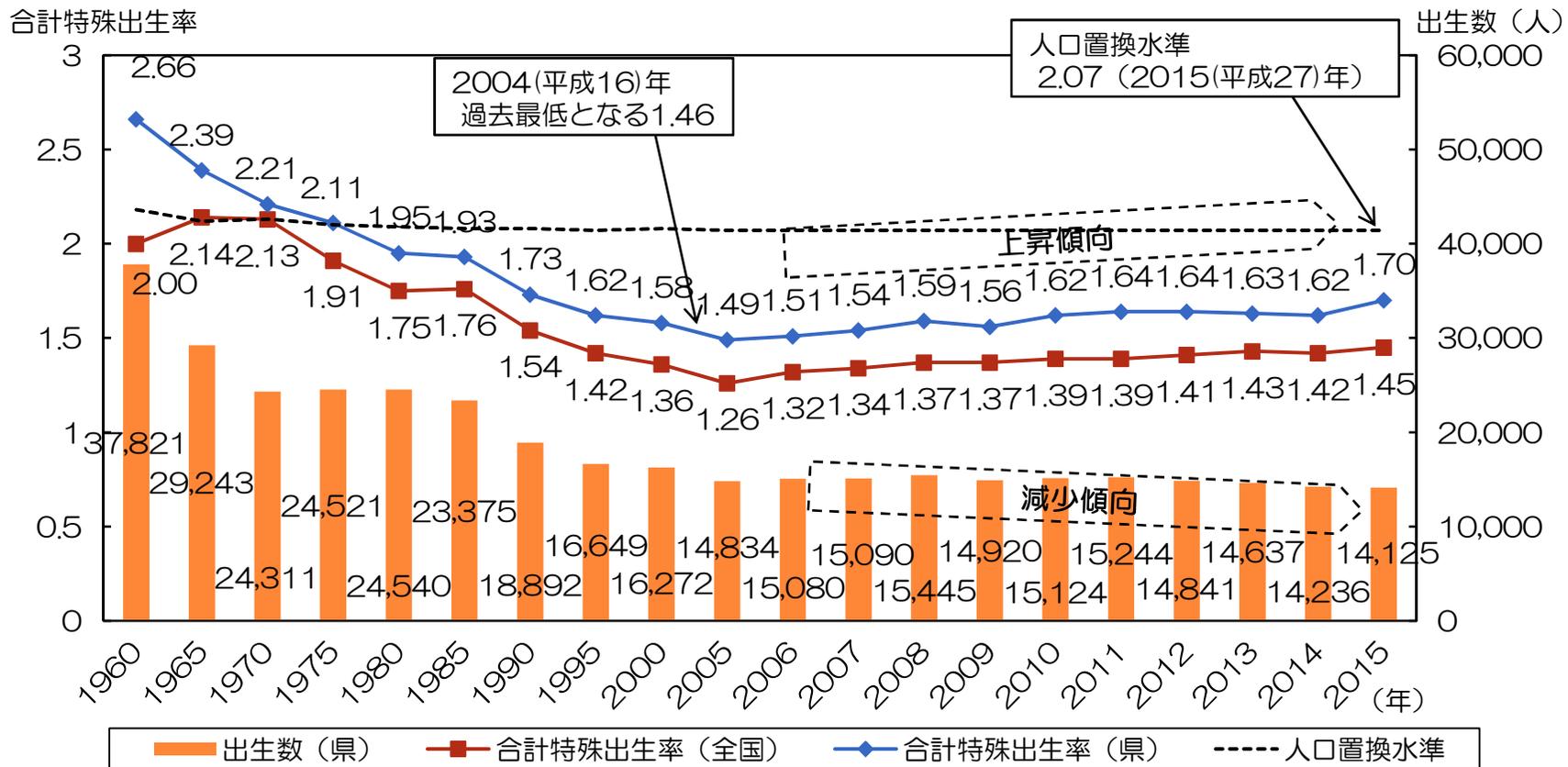
自然動態



2016(平成28)年
 出生 13,688人
 死亡 21,610人
 自然増減 $\Delta 7,922$ 人

- 長らく自然増の状態が続いたが、1995(平成7)年に自然減となり、1997(平成9)年以降は自然減が続く

3 合計特殊出生率・出生数の推移

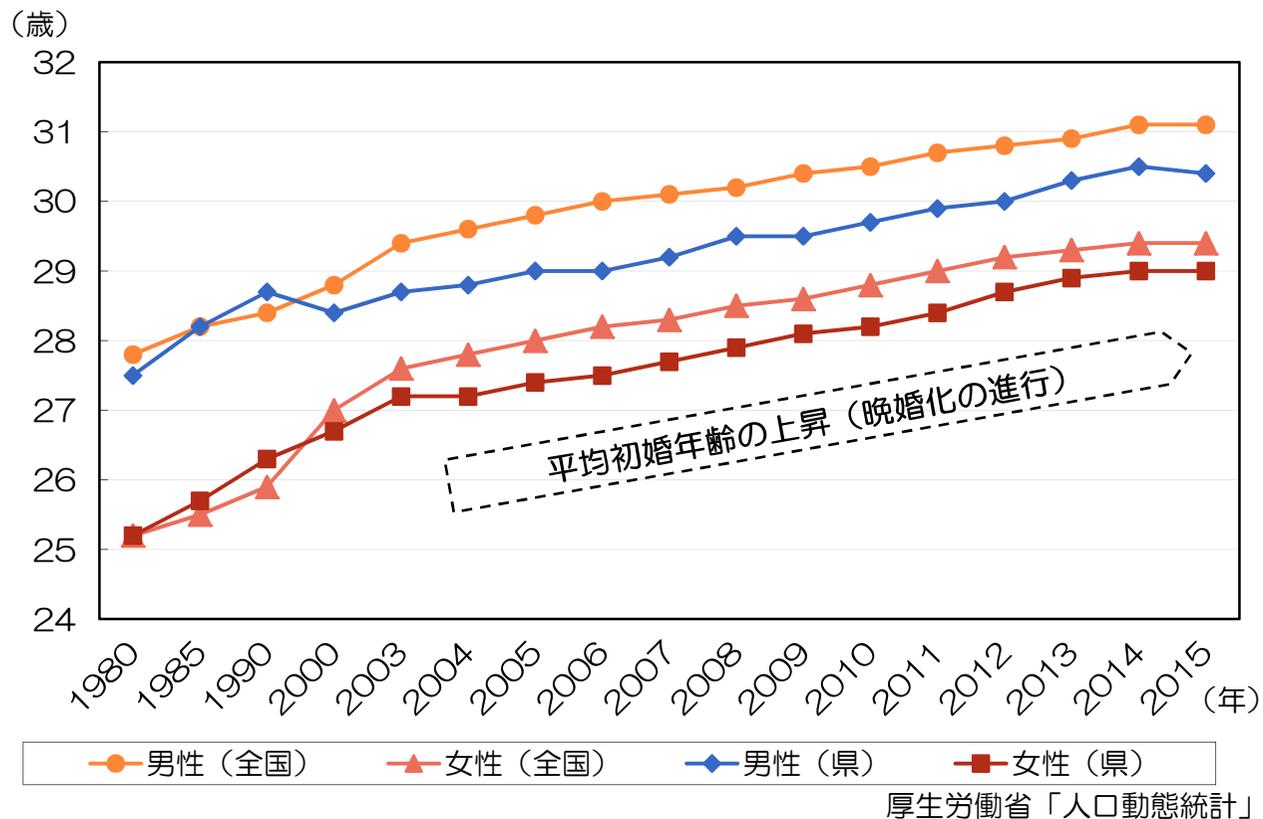


県保健福祉部「衛生統計年報」，厚生労働省「人口動態統計」

2015(平成27年)
合計特殊出生率 1.70
出生数 14,125人

- 合計特殊出生率は全国を上回るものの、1980（昭和55）年以降、人口維持に必要な水準を下回り続けている。一方で、過去最低となった2004（平成16）年以降、上昇傾向にあるものの、人口減少の影響から出生数は減少（2005年と比べ 合計特殊出生率：0.21増，出生数：△709人）

4 平均初婚年齢の推移



2015(平成27)年
 本県 男性 30.4歳
 女性 29.0歳
 全国 男性 31.1歳
 女性 29.4歳

- 本県の平均初婚年齢は、男女とも全国より低い水準で推移
- 一方で、全国と同様に晩婚化が進行しており、1980（昭和55）年と比べると男性が約3歳、女性が約4歳ずつ上昇

生涯未婚率※

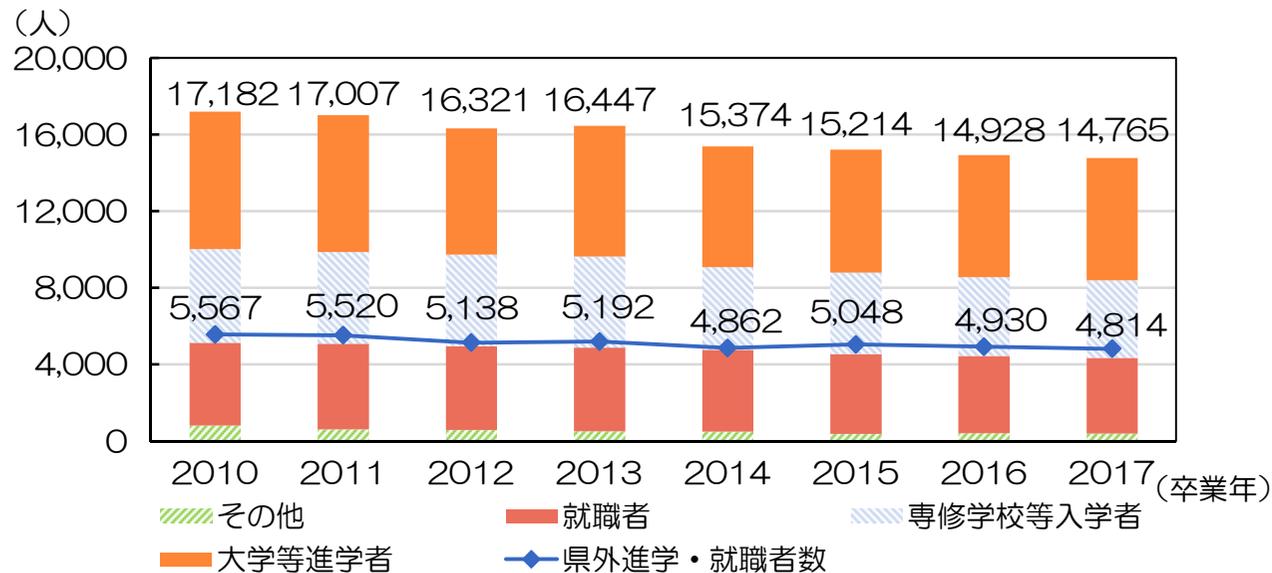
区分		1980年	2015年	比較増減
県	男性	2.8%	22.6%	+19.8%
	女性	5.3%	14.7%	+9.4%
全国	男性	2.6%	23.4%	+20.8%
	女性	4.5%	14.1%	+9.6%

※50歳時点で一度も結婚したことのない人の割合 総務省「国勢調査」

2015(平成27)年
 本県 男性 22.6%
 女性 14.7%

- 生涯未婚率も上昇を続けており、1980（昭和55）年と比べると男性が約8倍、女性が約3倍の水準まで上昇

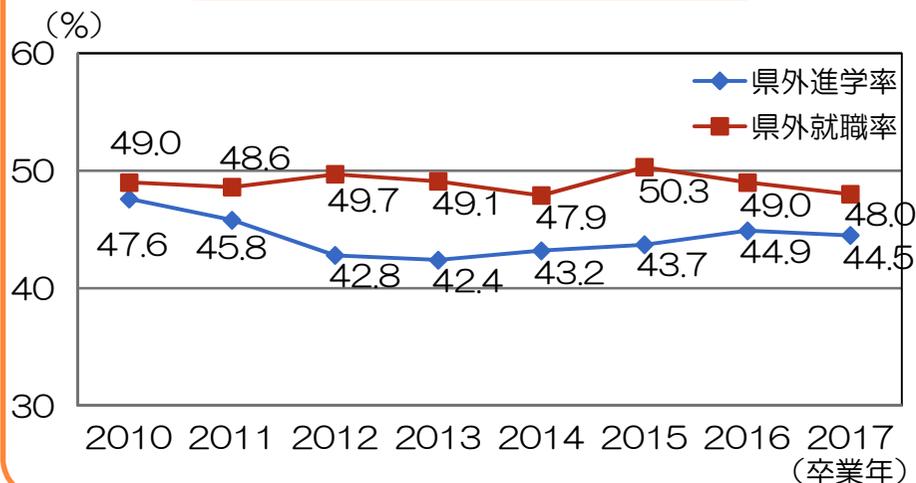
5 高等学校卒業者の進路状況



2017(平成29)年3月
 卒業生数 14,765人
 県外進学・就職者数計 4,814人
 県外進学・就職者割合 32.6%

・毎年、高等学校卒業者の3割強が県外に進学・就職している

県外進学率・就職率の推移



県外就職率の高い都道府県 (2017(平成29)年3月)

順位	都道府県名	県外就職率
1	鹿児島県	44.5%
2	宮崎県	44.2%
3	青森県	42.5%
3	熊本県	42.5%
5	佐賀県	41.0%
全国		18.8%

県企画部「学校基本統計」，文部科学省「学校基本調査」

地域別の将来人口推計

(人)

		2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
鹿児島県	総人口	1,648,177	1,583,263	1,510,970	1,436,753	1,361,575	1,284,036	1,204,146
	0-14歳	221,524	210,039	195,052	179,168	164,225	151,622	139,987
	15-64歳	941,406	854,859	784,686	730,481	682,993	626,685	572,976
	65歳以上	485,247	518,365	531,232	527,104	514,357	505,729	491,183
	75歳以上	265,355	269,702	295,306	320,773	330,086	322,377	304,879
鹿児島	総人口	679,508	666,592	649,464	629,920	608,139	583,982	557,785
	0-14歳	91,822	88,052	82,437	76,827	71,627	67,464	63,564
	15-64歳	412,352	383,507	361,298	342,901	324,631	300,684	278,104
	65歳以上	175,334	195,033	205,729	210,192	211,881	215,834	216,117
	75歳以上	88,076	96,822	113,200	126,697	132,234	132,042	129,701
南薩	総人口	135,668	125,099	114,642	104,640	95,015	85,568	76,372
	0-14歳	15,581	14,171	12,842	11,414	10,034	8,771	7,617
	15-64歳	70,994	61,004	52,891	47,262	42,709	38,198	33,504
	65歳以上	49,093	49,924	48,909	45,964	42,272	38,599	35,251
	75歳以上	28,367	26,766	27,341	28,626	28,403	26,114	22,884
北薩	総人口	203,863	193,289	182,073	170,980	159,971	148,867	137,654
	0-14歳	27,624	25,819	23,822	21,641	19,608	17,843	16,168
	15-64歳	111,267	99,844	90,560	83,195	77,012	70,119	63,718
	65歳以上	64,972	67,626	67,691	66,144	63,351	60,905	57,768
	75歳以上	37,033	36,249	38,360	40,755	41,107	39,652	36,669
始良・伊佐	総人口	238,167	231,469	223,334	214,467	205,279	195,639	185,511
	0-14歳	33,374	32,249	30,513	28,435	26,401	24,697	23,106
	15-64歳	136,384	125,679	116,649	109,449	103,069	95,178	87,630
	65歳以上	68,409	73,541	76,172	76,583	75,809	75,764	74,775
	75歳以上	37,372	38,411	42,736	46,609	48,506	48,105	46,284
大隅	総人口	238,064	224,149	209,249	194,743	181,035	167,561	154,172
	0-14歳	31,386	29,966	27,682	25,153	22,794	20,715	18,804
	15-64歳	128,030	113,311	100,962	92,035	85,392	78,158	71,031
	65歳以上	78,648	80,872	80,605	77,555	72,849	68,688	64,337
	75歳以上	46,128	44,048	45,348	47,418	48,118	45,913	41,439
熊毛	総人口	42,760	39,890	36,931	34,061	31,296	28,604	25,913
	0-14歳	5,829	5,259	4,722	4,226	3,760	3,398	3,065
	15-64歳	22,598	19,722	17,322	15,542	13,982	12,376	10,930
	65歳以上	14,333	14,909	14,887	14,293	13,554	12,830	11,918
	75歳以上	8,179	7,923	8,176	8,639	8,729	8,281	7,562
大島	総人口	110,147	102,775	95,277	87,942	80,840	73,815	66,739
	0-14歳	15,908	14,523	13,034	11,472	10,001	8,734	7,663
	15-64歳	59,781	51,792	45,004	40,097	36,198	31,972	28,059
	65歳以上	34,458	36,460	37,239	36,373	34,641	33,109	31,017
	75歳以上	20,200	19,483	20,145	22,029	22,989	22,270	20,340

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

各地域の総人口の推移

(%)

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
鹿児島県	100	96.1	91.7	87.2	82.6	77.9	73.1
鹿児島	100	98.1	95.6	92.7	89.5	85.9	82.1
南薩	100	92.2	84.5	77.1	70.0	63.1	56.3
北薩	100	94.8	89.3	83.9	78.5	73.0	67.5
始良・伊佐	100	97.2	93.8	90.0	86.2	82.1	77.9
大隅	100	94.2	87.9	81.8	76.0	70.4	64.8
熊毛	100	93.3	86.4	79.7	73.2	66.9	60.6
大島	100	93.3	86.5	79.8	73.4	67.0	60.6

※ 数字は2015年の人口に対する割合

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

各地域の年代別人口割合

(%)

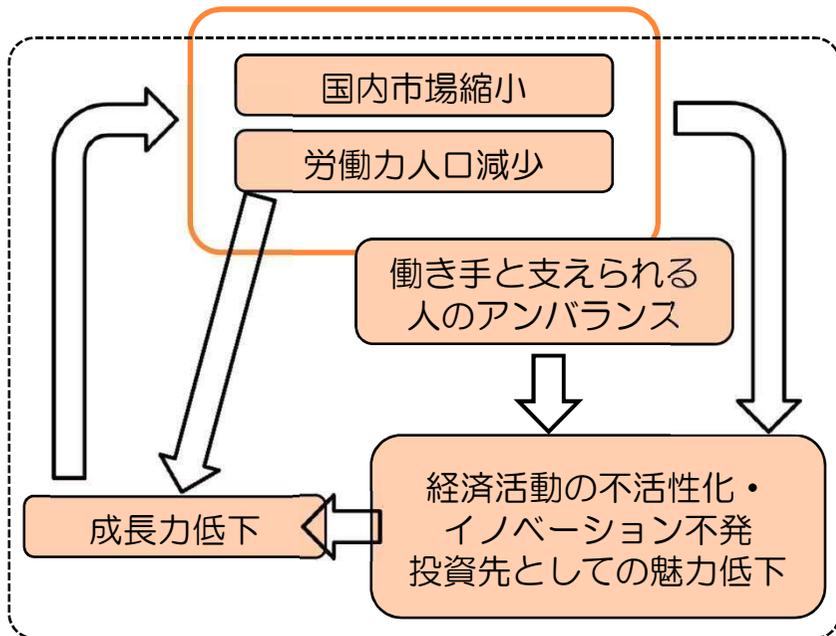
		2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
鹿児島県	0-14歳	13.4	13.3	12.9	12.5	12.1	11.8	11.6
	15-64歳	57.1	54.0	51.9	50.8	50.2	48.8	47.6
	65歳以上	29.4	32.7	35.2	36.7	37.8	39.4	40.8
鹿児島	0-14歳	13.5	13.2	12.7	12.2	11.8	11.6	11.4
	15-64歳	60.7	57.5	55.6	54.4	53.4	51.5	49.9
	65歳以上	25.8	29.3	31.7	33.4	34.8	37.0	38.7
南薩	0-14歳	11.5	11.3	11.2	10.9	10.6	10.3	10.0
	15-64歳	52.3	48.8	46.1	45.2	44.9	44.6	43.9
	65歳以上	36.2	39.9	42.7	43.9	44.5	45.1	46.2
北薩	0-14歳	13.6	13.4	13.1	12.7	12.3	12.0	11.7
	15-64歳	54.6	51.7	49.7	48.7	48.1	47.1	46.3
	65歳以上	31.9	35.0	37.2	38.7	39.6	40.9	42.0
始良・伊佐	0-14歳	14.0	13.9	13.7	13.3	12.9	12.6	12.5
	15-64歳	57.3	54.3	52.2	51.0	50.2	48.6	47.2
	65歳以上	28.7	31.8	34.1	35.7	36.9	38.7	40.3
大隅	0-14歳	13.2	13.4	13.2	12.9	12.6	12.4	12.2
	15-64歳	53.8	50.6	48.2	47.3	47.2	46.6	46.1
	65歳以上	33.0	36.1	38.5	39.8	40.2	41.0	41.7
熊毛	0-14歳	13.6	13.2	12.8	12.4	12.0	11.9	11.8
	15-64歳	52.8	49.4	46.9	45.6	44.7	43.3	42.2
	65歳以上	33.5	37.4	40.3	42.0	43.3	44.9	46.0
大島	0-14歳	14.4	14.1	13.7	13.0	12.4	11.8	11.5
	15-64歳	54.3	50.4	47.2	45.6	44.8	43.3	42.0
	65歳以上	31.3	35.5	39.1	41.4	42.9	44.9	46.5

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

6 人口減少・少子高齢化の課題

経済規模の縮小

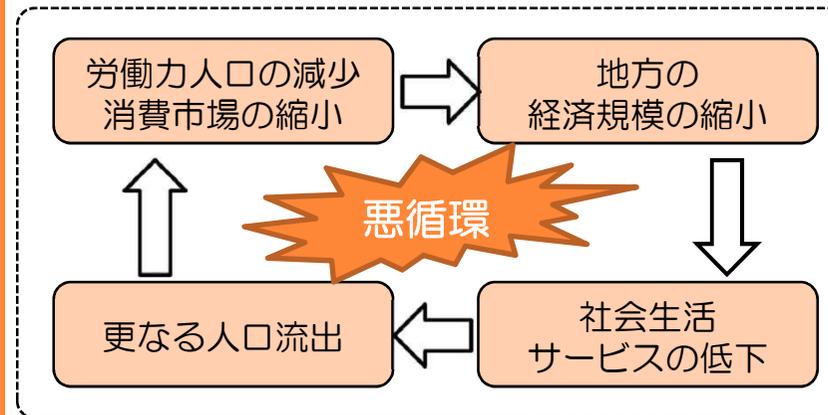
急速な人口減少



豊かさの低下

経済財政諮問会議「選択する未来」委員会
「選択する未来－人口減少から見えてくる未来像－」

地域社会への影響



悪循環

地域経済社会の縮小

○その他にも…

- 地域の伝統行事等の継承の問題
- 地域の核となっている学校の閉校による活力低下
- 農林水産業の衰退や森林・農地の荒廃
- 商業・商店街が衰退
- 通勤通学者の減少による鉄道や路線バス撤退、運行回数の減少 等

厚生労働省「2015年 厚生労働白書」
国土交通省「2015年 国土交通白書」

「かごしま未来創造ビジョン」と「地域振興の取組方針」の関係性について

かごしま未来創造ビジョン
(平成30年3月策定)

県政全般にわたる最も基本となるものとして、おおむね10年後を見据えた中長期的な観点から、鹿児島県の目指す姿や施策展開の基本方向などを明らかにするもの

鹿児島県の目指す姿【ビジョン 第4章】

「鹿児島に生まれてよかった。鹿児島に住んでよかった。」と実感できる鹿児島

ひとが輝く鹿児島

地域に誇りを持ち
多彩な個性と能力を發揮

ひとが潤う鹿児島

どこよりも幸せを実感

ひとを魅了する鹿児島

元気な産業と
世界に選ばれる逸品を創出

ビジョンを補完

施策展開の基本方向【ビジョン 第5章】

- I 誰もが個性と能力を發揮し活躍できる社会の実現
- II 地域を愛し世界に通用する人材の育成と文化・スポーツの振興
- III 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現
- IV 健康で長生きできる社会の実現と良質な医療の確保
- V 豊かな自然との共生と地球環境の保全
- VI 安心・安全な県民生活の実現
- VII 暮らしが潤い世界につながる県土の創造
- VIII 個性を生かした地域づくりと奄美・離島の魅力の發揮・振興
- IX 人・モノ・情報が盛んに行き交う「KAGOSHIMA」の実現
- X 革新的技術の導入と競争力のある産業の創出・振興
- XI ライフスタイルをデザインできる働き方の創出
- XII 持続可能な行財政運営

本県の魅力・イメージ向上や地域資源の高付加価値化等を図るため「**鹿児島県のウェルネス**」というキーワードを用いて施策を展開

地域振興の取組方針 (平成30年度中に作成予定)

「かごしま未来創造ビジョン」に沿って、各地域における地域特有の課題やポテンシャル、分野別の取組方針などを示すもの

取組方針の構成 (案)

第1章 時代の潮流と地域の現状・課題

第2章 地域のポテンシャル

第3章 分野別の取組方針 (項目は一例)

- 1 教育・文化・スポーツ
- 2 保健・医療・福祉
- 3 環境・エネルギー
- 4 まちづくり
- 5 地域産業 等

※地域の意見を反映させるため、地域懇談会(仮称)を開催

ビジョンを踏まえて作成

※鹿児島県のウェルネス

「健康・癒やし・長寿」に役立つ鹿児島県の良質な地域資源(豊かな自然, 美しい景観, 豊富な温泉資源, 安心・安全な「食」など)

北薩地域の概況等について

平成30年7月2日
鹿児島県北薩地域振興局

I 区域等

1 区域

3市2町（阿久根市，出水市，薩摩川内市，さつま町，長島町）

※ 有人離島 出水市（桂島），薩摩川内市（上甌島，中甌島，下甌島），
長島町（獅子島）



2 面積

1,567.27km²（県土の17.1%）

3 人口（H30.5.1現在県推計人口（鹿児島県統計課））

総人口：197,807人（県総人口：1,616,656人）（県総人口の12.24%）

（単位：人）

	県全体	阿久根市	出水市	薩摩川内市	さつま町	長島町
平成30年5月1日 推計人口	1,616,656	20,027	52,588	94,022	21,166	10,004

4 年齢構成（H29.10.1現在県推計人口（鹿児島県統計課））

- ① 65歳以上の高齢者の占める割合：33.2%
- ② 県平均（30.8%）を上回る。

（単位：%）

	県全体	阿久根市	出水市	薩摩川内市	さつま町	長島町
15歳未満	13.5	10.7	13.7	14.2	11.5	14.4
15歳～64歳	55.7	49.1	54.3	54.9	49.0	51.0
65歳以上	30.8	40.1	31.9	30.8	39.5	34.6
（75歳以上）	16.6	23.9	17.2	17.0	23.8	19.8

5 産業別就業人口 (H27. 10. 1国勢調査)

① 管内の就業人口：96,950人 県平均に比べ、第2次産業が高い。

(単位:%)

	県全体	阿久根市	出水市	薩摩川内市	さつま町	長島町
第1次産業	9.5	14.4	14.0	6.3	18.2	40.2
第2次産業	19.4	26.1	25.1	29.1	28.6	18.1
第3次産業	71.1	59.5	60.9	64.6	53.2	41.6

II 地域の特性

- 1 県内唯一の第三セクターである肥薩おれんじ鉄道が営業運転
- 2 九州新幹線の停車駅が川内駅・出水駅の2か所
- 3 熊本県（八代・芦北・天草地域）と隣接
- 4 川内原子力発電所が立地
- 5 産業廃棄物管理型最終処分場が立地
- 6 複数県を流域とする一級河川の川内川が管内を貫流
- 7 人里近くで万羽の鶴が見られる世界で唯一の地
- 8 伝統的建造物保存地区が2箇所（出水麓武家屋敷群，薩摩川内市入来麓）
- 9 養鶏（マルイ農協を中心に，県全体の5割の生産額を占める）
- 10 漁業
養殖ブリ（東町漁協で県全体の9割近くの生産額を占める）
アジ・サバ・いわし類（北さつま漁協で県全体の7割の生産額を占める）
- 11 林業
たけのこ（県全体の7割の生産量を占める）